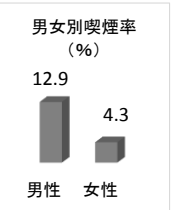
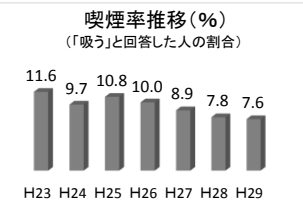
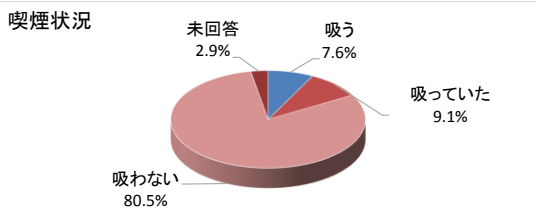
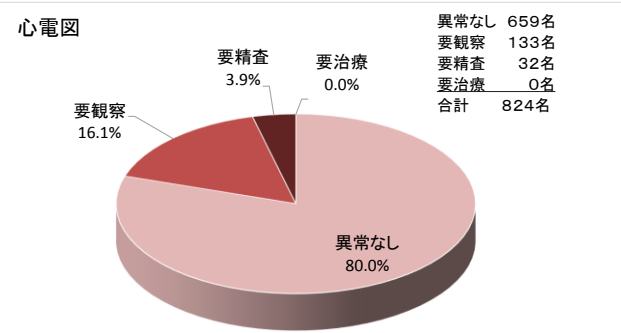
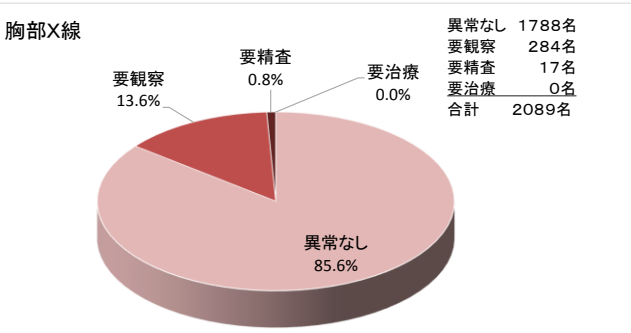
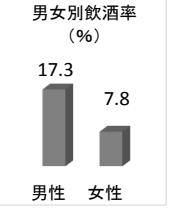
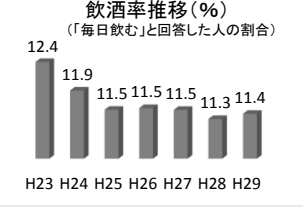
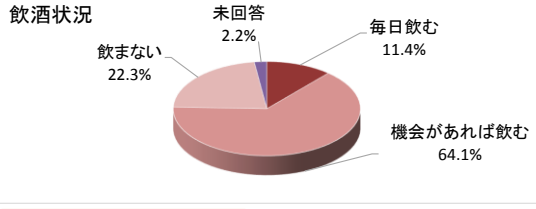


男性は脂質異常、肝機能障害ともに30代、40代が多い。働き盛りでストレスが多い年代であり、生活習慣の乱れがうかがわれる。貧血は男女差が大きく、女性の30代に多く、閉経期を迎える50歳代以上では性差がなくなる。貧血の原因となる疾患がないか注意が必要。男女ともに加齢とともに異常が増加している。精査以上の判定を受診行動に結びつけることが職員の健康増進のため重要である。



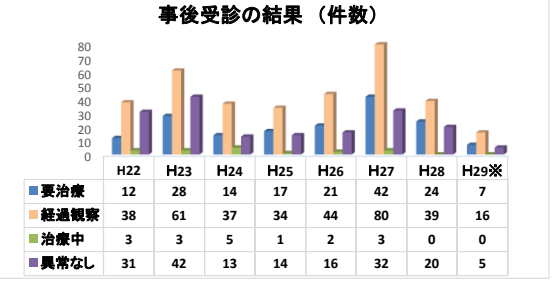
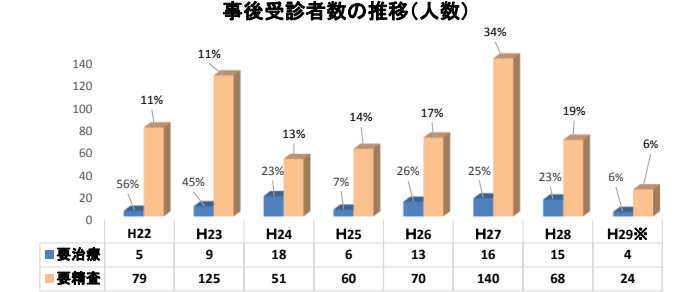
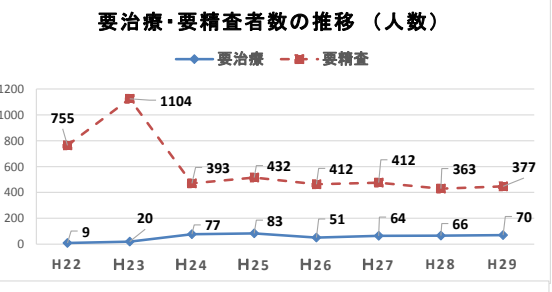
喫煙の状況※
(毎日吸っている人及び時々吸う日がある人の割合)
男性 30.2%
女性 8.2%
総数 18.3%



飲酒の頻度※
(毎日飲酒する人の割合)
男性 28.9%
女性 7.4%
総数 17.3%

事後受診について

※厚生労働省『平成28年国民健康・栄養調査報告』第3部生活習慣調査の結果、平成29年12月



※ 平成30年2月19日現在
事後報告の対象者(要治療・要精査)は、447名で昨年度から増加した。
事後受診の結果、経過観察が最も多かった。職員の健康の増進には事後受診率を上げ、治療につなげていくことが大切である。